

7月16日～31日の国内外外国為替市場動向

|                 | 為替市況   | 主要経済指標など  | 主要発言など  | 為替レート                                |                                      |                             |
|-----------------|--|---|---|--------------------------------------|--------------------------------------|-----------------------------|
|                 |  |   |   | ドル円                                  | ユーロ円                                 | 24H                         |
| 05/07/18<br>(月) | 東京が休場と言うこともありアジアタイムは小動き。ドル/円は112円台でのレンジ相場。欧米は小幅に円高。発表された対米証券投資は米国にとっては好材料ながら、むしろ逆の反応。              | ・東京市場休場<br>・5月の対米証券投資600億ドルの買い越し  | ・FRB議長「イールドカーブのフラット化、景気軟化の絶対的兆候ではない」  | 112.32<br>111.50<br>112.32<br>111.96 | 135.30<br>134.69<br>135.51<br>134.92 | 24H<br>寄付<br>安値<br>高値<br>終値 |
| 05/07/19<br>(火) | 東京は一転ドルが急伸。翌日の閣議長議会証言をにらみつつも、楽観的な観測などからドル買い易い。欧米はドル高というよりユーロ高。発表された独ZEW指数がかなり好数字になったことなどでユーロ高進む。   | ・日銀が金融決定会合議事録要旨公開、当座預金残高30～35兆円程度据え置きに対して福間氏と水野氏が反対<br>・7月の独ZEW景況感指数37.0<br>・6月の米住宅着工件数200.4万戸                  | ・韓国中銀当局者「ウォンが円に対し急激に上昇していることを懸念」  | 111.86<br>111.86<br>112.98<br>112.70 | 134.93<br>134.78<br>135.84<br>135.63 | 24H<br>寄付<br>安値<br>高値<br>終値 |
| 05/07/20<br>(水) | 東京は小泉首相辞任のウワサなどを背景に円が急落。ドル/円は113円のバリアをブレイクし円が一段安。欧米はユーロ高。FRB議長発言もありドルも強いがそれ以上にユーロがしっかり、逆にポンドが沈まない。 | ・小泉首相が郵政法案成立と引き換えに辞任、のウワサ<br>・7月の英中銀議事録発表、そのなかで9人中4人の委員が25bpの利下げを主張していたこと明らかに                                   | ・谷垣財務相「このところかなりの動きがある」<br>・FRB議長「利上げを継続する必要がある」   | 112.91<br>112.45<br>113.73<br>112.90 | 135.83<br>135.82<br>137.17<br>137.04 | 24H<br>寄付<br>安値<br>高値<br>終値 |
| 05/07/21<br>(木) | 東京は円高。材料的なものはほとんどなかったが前日円を売り過ぎたことからの反動から調整の動き優勢。欧米は大荒れ。予想外のタイミングで人民元切り上げが発表され円が急騰。一時は2円を超える上昇も。    | ・6月の貿易黒字8731億円<br>・中国が約2%の元切り上げを発表<br>・ロンドン地下鉄で再び爆発テロ発生<br>・マレーシアがリソギを管理ポート制へ<br>・6月の米景気先行指数0.9%、7月のFF連銀景況指数9.6 | ・FRB議長「人民元措置は良好な第一歩」<br>・シューマ-米上院議員「ごくわずかながら良い出だし」<br>・G7声明「より柔軟な為替レートに移行する中国当局の決定を歓迎」      | 112.80<br>109.87<br>112.94<br>110.28 | 136.98<br>133.58<br>137.22<br>134.23 | 24H<br>寄付<br>安値<br>高値<br>終値 |
| 05/07/22<br>(金) | 東京は一転円安。前日さすがにやり過ぎたとの見方が少なく、円売りが優勢に。円はクロスでも弱含み。欧米は円安と言うよりもドル高。東京からの流れに加え、ロンドン情勢不安から欧州通貨も敬遠された。     | ・中国人民日報「元の大幅切り上げは非現実的」<br>・ロンドン警察が爆破テロ容疑者を射殺(その後、射殺された男は容疑者ではない、との話も)   | ・中川経産相「2%前後の切り上げでは不十分」<br>・谷垣財務相「中国の決断は歓迎すべきこと」<br>・ECB総裁「市場金利は歴史的に極めて低水準」                  | 110.57<br>110.51<br>111.47<br>111.33 | 134.42<br>134.03<br>135.33<br>134.32 | 24H<br>寄付<br>安値<br>高値<br>終値 |
| 05/07/25<br>(月) | 前週の流れを継ぎ透明けの東京は円売りでスタート。とくに午後その動きが強まると一時は112円直前まで。欧米はドルが小幅安。米MNSによる報道などがキッカとなりドルの買い戻しにも歯止めが掛かった。   | ・土曜夕刻に東京で震度5弱の地震<br>・中国証券報「小幅切り上げは時間稼ぎ、経済不均衡は解決出来ず」<br>・米MNS「中国が今年9月にも人民元を再度切り上げる可能性がある」<br>・6月の米中古住宅販売733万戸    | ・周人民銀総裁「為替レートは変動するが変動幅は合理的なもの」<br>・細川財務次官「人民元の切り上げを歓迎」                                      | 111.41<br>111.30<br>111.99<br>111.50 | 134.36<br>134.19<br>135.21<br>134.47 | 24H<br>寄付<br>安値<br>高値<br>終値 |
| 05/07/26<br>(火) | 東京は再び円安傾向。終盤の片山発言などから郵政リスクが注目されはじめ円売り要因に。欧米で円は大幅統落。ドル/円はいわゆる人民元ショックの下落を全て吸収してきた格好に。                | ・米下院で対中関税拡大法案否決、賛成240・反対186<br>・7月の独IFO景況指数95.0<br>・7月の米消費者信頼感指数103.2   | ・中国人民銀行「予見しうる将来において人民元相場を再度調整するとの考えは誤り」<br>・片山自民党参院幹事長「首相は郵政法案否決されれば躊躇なく解散へ」                | 111.60<br>111.60<br>112.63<br>112.53 | 134.42<br>134.40<br>135.26<br>135.19 | 24H<br>寄付<br>安値<br>高値<br>終値 |
| 05/07/27<br>(水) | 東京はレンジ内で揉み合い。日銀会合や景気に絡む発言も聞かれたが市場への影響は限定的なものに。欧米はユーロが独歩高。ニュースなどよりも中銀による資金シフトのウワサなど需給要因がユーロ買いを後押し。  | ・日銀が金融政策の現状維持を7:2で決定<br>・6月の米耐久財受注1.4%、同新規住宅販売137.4万戸<br>・英警察が21日ロンドン爆破事件の容疑者4人を逮捕                              | ・福井日銀総裁「景気は全体としてじわじわ良い方向へ動いている」<br>・米地区連銀報告「米経済は6～7月初めにかけて引き続き拡大」                           | 112.52<br>112.15<br>112.80<br>112.46 | 135.23<br>134.88<br>135.75<br>135.72 | 24H<br>寄付<br>安値<br>高値<br>終値 |
| 05/07/28<br>(木) | 東京は一部通信社電を受けて一時円高に振れるも行って来い。単体では動き難い。欧米でドルは弱含み。欧州要人の発言で荒れ模様の値動き迎えるなか、翌日の米GDP発表を前に調整進む。             | ・一部通信社「中国人民銀行、市場が人民元相場を決定することを許容する方針」(のちにトングラウ)<br>・7月の独失業率11.6%、同失業者数4.2万人                                     | ・伊首相「ECBは利下げで目覚める必要がある」<br>・EU「イタリアの経済問題はユーロのせいではない」<br>・シューマ、グラム両上院議員「人民元再切り上げなければ対中制裁法案も」 | 112.28<br>111.97<br>112.88<br>112.11 | 135.50<br>135.49<br>136.30<br>136.08 | 24H<br>寄付<br>安値<br>高値<br>終値 |
| 05/07/29<br>(金) | 東京は揉み合い。一時円買い意欲が強まる局面も見られたが、政局不安などもあり積極的には買い難い。欧米は円が小安い。日米金利差拡大と原油高、政局不安などからクロスを含めてシリシリと円が売られる。    | ・6月失業率4.2%、同鉱工業生産1.5%<br>・第2四半期米GDP3.4%、同雇コスト指数0.7%、7月シカゴPMI63.5、同ミシガン大インテックス確報値96.5<br>・米国の製油所で火災発生            | ・一部通信社「中国は06年に2～3%の追加切り上げも」<br>・自民党平沼氏「郵政法案否決で解散なら新党結成も」<br>・CEA委員長「米住宅価格、健全な米経済を示している」     | 112.32<br>111.94<br>112.54<br>112.50 | 136.22<br>135.75<br>136.44<br>136.37 | 24H<br>寄付<br>安値<br>高値<br>終値 |

\* 製作・著作；「FXニュースレター」

URL； <http://www.fx-newsletter.com/>